



森 議員

質問 総合支所建設の進捗状況はどのようになっているか、又旧本川根を含めて町営バスの運行をどのように考えているか伺います。

問

1. 庁舎建設は 2. 町営バスの広域運行は

町長 第一回建設委員会において、現在の総合支所の場所に建設するということを確認をしていたいただきました。規模、機能等でありませんが、総合支所の役割、本庁との事務事業の見直し、定員管理の問題等を考慮して行政サービスの低下にならないことを最重要課題として建設委員会において検討を進めていきたい。川根本町の防災拠点は本庁を本部として、総合支所は、北部地域の防災拠点として防災本部機能を補完する施設であると認識しております。必要施設として災害対策室、同報、行政無線施設、また活動スペース等、通常は会議室との併用を考えています。

町長 第一回建設委員会根地内、2路線を運行している。町営バスの路線開設につきましては、町バス路線対策委員会において既存の交通機関との検討、協議が必要であります。以前、青部バイパスの完成後、町の路線バス対策委員会において検討ということは、接阻地区から地名地区まで2車線道路で開通いたしました。そうした場合には町営バスの一つの議論になるだろうということである。川根本庁過疎地域自立促進計画の庁舎建設については

町長 事業費そのものが100%事業とイコールではないが建設に関しては過疎債の充当も当然視野に入れております。

質問 規模、機能については、管理部門や事務局部門を除き、従来の合併関係町の庁舎における行政機能をそのまま残すのが総合支所であり、又、人件費などの削減が期待



町長 先に規模の議論があるのではなくて住民のサービスを提供するのに、こういった機能を残し、防災拠点としてどんな機能が必要か、コミュニケーションの場としてどういったスペースを確保しなければならぬかそういったものの積み上げで規模や機能が決まってくる。そこら辺が委員会に諮問する時期かなということでは言わせて頂いております。

答

1. 18年度中に基本設計 2. 当面は考えていない

町長 現時点では、総合所もあるので、町民の交流のために町営バスを全町内に走らせるところまでは経費面でも無理がある。福祉タクシー早期全町運行をめざします。旧町間を結ぶというのが本当に必要なことになれば、又それは検討します。